

地方独立行政法人玉野医療センター
令和３年度の業務実績に関する評価結果

令和４年７月
玉野市

地方独立行政法人玉野医療センター業務実績に関する評価結果

1. 全体評価

令和３年度の業務実績に関する評価結果は、
「中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。」と評価する。

2. 評価の判断理由

第２から第５までの全ての大項目で評価結果を「B」とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗していると判断した。

大項目	評価
第２ 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B
第３ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	B
第４ 財務内容の改善に関する事項	B
第５ その他業務運営に関する重要事項	B

3. 評価にあたり考慮した事項

全体の評価にあたり特に考慮した事項は以下のとおりである。

- ① 全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続いている期間であり、コロナ禍という特異な医療環境での運営となったため、目標値の達成や事業の実施にあたり一定の考慮をしたうえで評価を行っている。
- ② 新型コロナウイルスへの対応では市内で唯一の感染症病床を確保するとともに、ワクチン接種においても大規模な接種会場を設けるなど、感染症対応では中心的な役割を担っている。
- ③ 医師会との関係構築のため毎月の協議に参画するとともに、医療連携の具体的な取組みとして紹介率、逆紹介率の向上を目標として院内への周知がされている。
- ④ 休日当番医やワクチン接種などの行政施策との連携においても、地域の医療機関と役割分担を行ったうえで、中心的な役割を担っている。
- ⑤ ２病院が連携及び協同することで、これまでに実施できていなかった新型コロナウイルス関連の補助金等が受けられ、一時的ではあるが収入の確保による経営基盤の安定化につながっている。
- ⑥ 感染状況の拡大により直接の接触機会が減少し、研究発表や地域との交流においてはその機会が大きく減少している。
- ⑦ 法人運営初年度による多忙と人員配置の問題から、内部統制や内部監査を実施する体制は構築できておらず、早急な対応が望まれる。
- ⑧ 一部の職場においては長時間の超過勤務が発生しており、ワークライフバランスが崩れた状態となっているため、早急な対応が必要である。

4. 全体評価にあたっての意見、指摘等

全体の評価としていただいた意見、指摘等は以下のとおりである。

- ① 項目数が多く評価することがかなり大変なので、もう少し整理したうえでわかりやすい構成としてもらいたい。
- ② 全体を通して定性的な表現が多く評価しづらいので、各項目について目標とその結果を達成、未達成のような定量的な記載としてもらいたい。

2. 項目別評価

(1) 評価の基準

(地方独立行政法人玉野医療センター業務実績評価に係る実施要領より)

[小項目評価基準]

- 「5」：年度計画を大幅に上回って実施している。
- 「4」：年度計画を上回って実施している。
- 「3」：年度計画どおりに実施している。
- 「2」：年度計画を下回っている。
- 「1」：年度計画を大幅に下回っている、又は実施できていない。

[大項目評価基準]

- 「S」：中期目標・中期計画の実現に向けて著しく進捗している。
(小項目評価の平均点が4.5以上)
- 「A」：中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が3.5以上4.5未満)
- 「B」：中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が2.5以上3.5未満)
- 「C」：中期目標・中期計画の実現のためにはやや遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5以上2.5未満)
- 「D」：中期目標・中期計画の実現から大幅に遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5未満)

(2) 大項目評価

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目		評価
1 担うべき医療提供体制	(1) 救急医療	3
	(2) 小児・周産期医療	3
	(3) リハビリテーション医療	3
	(4) 検診・予防医療	4
	(5) 在宅医療	3
	(6) 災害医療	3
	(7) 新たな感染症への対応	4.5
2 医療の質の向上	(1) 地域医療への貢献	3
	(2) 相乗効果の発揮	3
	(3) チーム医療の実施	3
	(4) 医療従事者の確保及び育成	3
	(5) 調査・研究・治験への取り組み	3
3 患者サービスの向上	(1) 患者中心の医療の提供	3
	(2) 地域との交流	3
	(3) 医療安全対策	3
	(4) 積極的な情報発信	3
	(5) コンプライアンスの徹底	2
4 医療機関との連携		3
5 関係機関との連携	(1) 行政機関との連携	3
	(2) 医師会等との連携	3
	(3) 教育機関との連携	3
平均		3.0 3.1

評価結果 B

判断理由

小項目21項目中20項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

全体的に見れば、2病院による運営が開始され病院間での連携や協同実施により医療体制や患者サービスが維持され、一部の機能においては集約がされるなど2病院で

あることの利点や新病院への集約を意識した取組みがなされている点はおおむね計画通りに進捗している。

一方で、情報発信や内部統制については人員配置の問題から実行不足と考えられる点も見受けられることから、病院運営の根幹となる患者に対して提供されるサービスの質の向上が得られるよう早期の対応が必要である。

また、新型コロナウイルス感染症が前年から引き続き全国的に広がっている状況のなかで、予防医療や感染症対応にあつては市内の医療機関の中心的な役割として行政とも連携し対応にあたっていた点は高く評価するものである。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・救急医療として急性期患者の対応は難しい部分もあるが、市民のために可能な限り玉野医療センターで完結できる体制の構築に努めてもらいたい。
- ・紹介、逆紹介の向上を含め玉野医療センターと医師会との病診連携により地域包括ケアシステムを構築することのできる組織であって欲しい。
- ・災害や新興感染症はいつ何が起こるかわからないことを念頭に、地域包括ケアシステムに則って役割分担のうえで対応して欲しい。
- ・新たな感染症への対応はさらなる期待も込めて「5」から「4」へ修正。
- ・小児、周産期医療の拡充は難しいと聞いているが、何かあったときに受入れてもらえない、どこに行ったらよいかわからない、といったことがないよう新病院では期待をしている。
- ・玉野医療センターの医師と開業医との間に顔の見える関係がないので、合同で勉強会等などを行ってはどうか。
- ・研修に関してはオンラインでの活用機会も増えているので、柔軟に対応してもらいたい。
- ・広報誌は病院の取組みがよくわかる内容となっているので、もっと多くの市民に見てもらえるよう配布の方法も含めて検討して欲しい。
- ・地域枠医師は県北への配置ばかりで県南に配置されていない。積極的に要望し医師の確保につなげてもらいたい。
- ・利便性確保の観点から、現金以外の決済方法についても検討してもらいたい。
- ・医療安全対策や感染防止対策は他医療機関と連携することで加算も得られるので、勉強会の機会が作られるよう考えて欲しい。
- ・病院では特に情報セキュリティの管理が大切であるので、所管の部署を立ち上げるなど管理ができる体制の構築が望ましい。
- ・高齢者は感染や骨折等のリスクも高く医療との連携が必要であるため、介護施設との連携体制も構築して欲しい。
- ・医療従事者の確保のためにも地元の専門学校との連携は大切にしてもらいたい。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目		評価
1 業務運営体制の構築	(1) 運営体制	3
	(2) 管理体制の強化	2
	(3) 外部評価等の活用	3
2 職場環境の整備	(1) 働きやすい職場環境の整備	2
	(2) 職員の職務能力の向上	2
	(3) 効果的な人事・給与制度の構築	3
平均		2.5

評価結果 B

判断理由

小項目6項目中3項目で2としたものの、その他は全て3の評価とし、平均2.5であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

小項目のうち2の評価としたものは、いずれも職員の配置に関係するものとなっており、新病院が完成した後は2病院の職員が合流なども見据え無計画に職員の採用を行うことはできないが、法人運営の改善及び効率化に必要となる人員については新規の採用も含めた柔軟な人の配置について検討が必要である。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・会計でのお金の管理は、間違いが起こる可能性もある部門なので、内部的にもチェックできる体制作りを行ってほしい。
- ・時間外労働や職員数の管理について、新病院への移行も考慮し全体での業務分担による体制を考えてほしい。

第4 財務内容の改善に関する事項

小項目		評価
1 経営基盤の確立		3 4
2 収入の確保と経費の節減	(1) 収入の確保	3
	(2) 経費の節減	3
3 運営費負担金		3
平均		3.0 3.3

評価結果 B

判断理由

小項目4項目中全ての項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

令和3年度の経営状況としては、法人全体で黒字となっており当初計画を上回る実績となっているところであるが、新型コロナウイルス感染症の流行期という特異な医療環境のなかにあつて、病床確保やワクチン接種等の感染症対応へ注力したことにとともなう補助金が収入でも大きな部分を占める結果となっており、継続的な経営の安定化とは言えない状況である。

しかしながら、これまでの単独の1病院単位では実施できなかった大規模な予防接種の実施や感染症対応の病床確保など、新たな取組みについて理事長を始めとする経営陣が主導することで実施できたことは大きな前進になったと考えられる。

国からの補助金等による一時的な収入がなくなった後でも、安定的な経営が継続できるよう収入の確保及び経費の節減に努める必要がある。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・経営改善の要因が一時的な補助金等によるところが大きいことも踏まえて、経営基盤の確立の評価は「4」から「3」へ修正。

第5 その他業務運営に関する重要事項

小項目	評価
1 新病院の整備	3
2 新病院への移行	3
平均	3

評価結果 B

判断理由

小項目2項目中全ての項目を3の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

令和3年度は新病院の整備として、設計業務及び施工予定者の選定、既存施設の解体等を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響もあって協議の期間が延びた影響もあり全体の工期が後ろずれすることとはなったが、新病院の整備及び移行の準備については着実に進捗している。

今後、設計が完了し本格的な工事に着手することとなるが、円滑に新病院の稼働が行えるよう院内スタッフへの周知と綿密な準備が必要である。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・以前より午後診療実施の議論があるが、病診連携のなかで役割分担を決め、玉野医療センターが担うべき役割のなかで考えてもらいたい。